

第8回日中トライボロジー先端フォーラム (The 8th Advanced Forum on Tribology 2017, Zhenjiang) のご報告

日本精工(株) 宇山英幸

去る2017年9月15日(金)~17日(日)に、中国機械工程学会摩擦学分会(CTI)と本会の共催にて、第8回日中トライボロジー先端フォーラム(The 8th Advanced Forum on Tribology 2017, Zhenjiang)が、中国の江蘇州鎮江において開催されました(写真1)。

日中トライボロジー先端フォーラムは、「日中間でハイレベルの技術交流会を実現したい」との日本と中国のトライボロジー学会の合意に基づいて、2010年に盛岡で第1回フォーラムが開催された後、洛陽、名古屋、北京、富士、武漢、奈良と日中間で交互に毎年開催されてきました。引き続き開催された第8回フォーラムも、日本、中国ともに各分野のエキスパートによる最先端の技術に関する講演を行っていただきました。以下にその内容をご紹介します。

本フォーラムは例年4月に開催されておりますが、本年は、北京で開催されたWTC2017の日程に合わせて9月に開催されました。

15日(金)は、ちょうど台風が上海沖に来ており、日本からのフライトが心配されましたが、ほぼ時間どおり上海へ到着することができました。鎮江は、高速鉄道で上海から西へ約1時間程度、長江(揚子江)の南岸に位置し、三国時代から栄えた歴史ある都市です。ウエルカムパーティーも、1000年以上前の建物が残る歴史的観光地である西津渡古街(写真2)で行われました。筆者は、本フォーラムに2回目の参加でしたが、何度も参加されている先生方は、1年ぶりの再会をお互いに祝い、和やかな雰囲気でもフォーラムが始まりました(写真3)。



写真1 会場の鎮江碧榆園ホテルでの集合写真

最前列左より、李健先生(武漢材料研究所, CTI 常務理事)、張永振先生(河南科技大学, CTI 副会長)、丁建寧先生(常州大, CTI 常務理事)、邵天敏先生(清華大, CTI 副秘書長)、葛世榮先生(中国鉱業大学, CTI 会長)、薛群基先生(寧波工業技術研究所, 基調講演)



写真2 西津渡古街の見学



写真3 ウェルカムパーティーにて

16日(土)の朝に、実行委員長の丁建寧先生(常州大)と加藤先生(東大)から開会のご挨拶がありました。加藤先生からは、8世紀に遣唐使が、今回の開催場所である鎮江市のすぐ北の揚州市にいる鑑真を訪ね、その後鑑真は日本に渡り、前回の開催場所である奈良で仏教を広めたという、日中フォーラムの歴史的な縁を感じさせるお話がありました。

基調講演は、以下の2件が行われました(敬称略、講演順に掲載)。

・安藤泰久(東京農工大学)

Effects of Lattice Interaction on Friction Coefficient

・Qunji XUE(寧波工業技術研究所)

Ultra-low Friction Enabled by Load Induced Friction Collapse

招待講演は、日中合わせて16件の講演が行われました。日本側は、公募および国際企画委員会の推薦によって、筆者を含めて以下8名の講演が行われました(敬称略、講演順に掲載)。

・三原雄司(東京都市大学)

・鷲津仁志(兵庫県立大学)

・八木和行(九州大学)

・谷 弘詞(関西大学)

・川村隆之(NTN株式会社)

・林 慎之(三菱重工業株式会社)

・渡邊和也(昭和シェル石油株式会社)

・宇山英幸(日本精工株式会社, 筆者)

中国側からは、CTI推薦の以下の8名の講演が行われました(敬称略、講演順に掲載)。

・Yongzhen ZHANG(河南科技大学)

・Yuhong LIU(清華大学)

・Daoai WANG(蘭州化学物理研究所)

・Fenguhua SU(華南理工大学)

・Zhenyu ZHANG(大連理工大学)

・Zhiguang GUO(蘭州化学物理研究所)

・Xiuqin BAI(武漢理工大学)

・Dagang WANG(中国鉱業大学)

約40人がフォーラムに参加し、すべての講演は一つの会議室において参加者が一同に会して行いました。また、英語のほか、必要に応じてボランティアの通訳もあり、日中の二国間で開催されるため、他の国際会議とは差別化された特色のあるフォーラムになっていることが再認識できました(写真4, 5)。



写真4 会場の様子



写真5 基調講演をされる安藤先生



写真7 バンケットの様子

昼食後には、本会とCTIメンバーによるミーティングが開催され、日中のトライボロジー学会の今後の連携について議論が行われました(写真6)。本会からは、第9回フォーラムの開催計画を提案し、CTIに承認されました。

またバンケットにおいては、美味しい中華料理とお酒の前に、技術的交流だけでなく人的な交流についても、さらに深められたと思います(写真7)。

次回、第9回日中トライボロジー先端フォーラムは、2018年4月12日(木)～14日(土)に福岡県北九州市の北九州国際会議場にて開催される予定です。本フォーラムが日中トライボロジーの相互交流をさらに深め、JASTの国際化が一層広がることを期待しています。



写真8 空海や遣唐使も訪れた金山寺の見学



写真6 本会とCTIとのミーティングの様子